

会報

No. 120 号

平成 25 年 (2013 年)

4 月 1 日発行

発行人 沢田和夫

シルバーだより

公益社団法人 立川市シルバー人材センター

会員数(平成 25 年 2 月 28 日現在)
1,699 名(男 1,251 名 女 448 名)
本部事務局 柴崎町 1-17-7
☎042-527-2204
錦支部 錦町 6-15-20
☎042-528-8041
羽衣ワークセンター 羽衣町 1-12-18
☎042-523-5921
砂川分室 砂川町 1-52-17
☎042-534-3222



二十五年度を迎えて

公益社団法人 立川市シルバー人材センター会長 沢田和夫

会員の皆様には、ますますご清栄にてセンターの就業や「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」を中心とする地域貢献活動にご活躍いただき、誠にありがとうございます。

昨年度は、当シルバー人材センターが公益社団法人に移行して最初の年度で、また中期事業計画の開始年度でありました。

事業の一層の進展のため、就業開拓等に積極的に取り組むとともに、会員の皆様に地域貢献の重要性を改めて認識していただくため、「『小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動』参加協力啓発方針」を制定、活動を“会員の役割”として位置づけ、「地域貢献活動の促進」に取り組んでまいりました。

おかげさまで、活動参加協力会員数も 200 名近く増加し、これも会員

の皆様のご理解ご協力の賜物と感謝申し上げます。

また、昨年度は、センターの地域貢献活動をはじめとした事業への高い評価により、立川市をはじめとして多くの新規委託がありました。特に、「市広報配布事業」受託は、当センターとして長らく望んでいた仕事であり、高齢会員を中心とした約 160 名の会員が就業することができ、会員の就業機会の確保と契約金額の増加に大きく寄与したところであります。

さて、今年度は、引き続き運営方針を「**中期事業計画の達成に向けたさまざまな施策に取り組むシルバー人材センター**」とし、明るい兆しも見え始めた感のある経済状況の中で、

- 1 就業機会の開拓・確保、普及啓発
- 2 適正就業の確保

- 3 地域貢献活動の促進
- 4 安全就業の確保と安全意識の啓発

- 5 中期事業計画の着実な達成

に積極的に取り組んでまいります。

また、平成 25 年度は、**会員数 1,800 名、契約金額 8 億 3,000 万円、就業率 75%**を事業の目標といたします。

就業開拓、普及啓発、地域貢献、安全就業への取り組みは、センター事業の根幹であり、会員・役員一丸となり邁進していかねばなりません。

平成 25 年 2 月には、「立川市地域見守りネットワーク事業協定」の協力団体となりました。市民の安全・安心に寄与しながらセンター事業を推進してまいりますので、会員皆様の変わらずのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

『地域班の編成が変わります』

センターでは、地域班班長会議等や総務部会で検討を進めた結果、平成 25 年4月1日から地域班の編成を一部変更することとなりました。

詳しくは、下表をご覧ください。

なお、所属班が変更になる会員及び班名が変更になる会員の皆様には、事務局より別途ご案内いたします。今後とも地域班活動及び地域貢献活動にご協力ご参加くださいますようお願いいたします

新しい地域班

(赤字の箇所が変更となった班です。柴崎町と上砂町は班名のみです。)

地区名・班名	区域	地区名・班名	区域	地区名・班名	区域
富士見町		曙町		幸町	
第 1 班	富士見町 1 丁目	第 1 班	曙町 1～2 丁目	第 1 班	幸町 1～3 丁目
第 2 班	富士見町 2 丁目	第 2 班	曙町 3 丁目	第 2 班	幸町 4～6 丁目
第 3 班	富士見町 3～4 丁目	高松町・緑町		柏町・泉町	
第 4 班	富士見町 5 丁目	第 1 班	高松町 1 丁目・緑町	第 1 班	柏町 1～2 丁目・泉町
第 5 班	富士見町 6 丁目	第 2 班	高松町 2 丁目	第 2 班	柏町 3～5 丁目
第 6 班	富士見町 7 丁目	第 3 班	高松町 3 丁目	砂川町	
柴崎町		栄町		第 1 班	砂川町 1～2 丁目
地区班	柴崎町全域	第 1 班	栄町 1～3 丁目	第 2 班	砂川町 3～6 丁目
錦町		第 2 班	栄町 4 丁目	第 3 班	砂川町 7 丁目
第 1 班	錦町 1～4 丁目	第 3 班	栄町 5 丁目	第 4 班	砂川町 8 丁目
第 2 班	錦町 5～6 丁目	第 4 班	栄町 6 丁目	上砂町	
羽衣町		若葉町		地区班	上砂町全域
第 1 班	羽衣町 1 丁目	第 1 班	若葉町 1～2 丁目	一番町・西砂町	
第 2 班	羽衣町 2～3 丁目	第 2 班	若葉町 3～4 丁目	第 1 班	一番町 1～3 丁目 西砂町 1～3 丁目
				第 2 班	一番町 4～5 丁目
				第 3 班	一番町 6 丁目 西砂町 4～7 丁目



協定書調印式記念写真
清水立川市長と沢田会長
毛塚事務局長

センターは「立川市地域見守りネットワーク事業」協力団体になりました

立川市地域見守りネットワーク事業は、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市民、市及び関係機関が協働して、見守り活動を行うことを目的とする事業です。

具体的には、会員の皆様のお住まいの地域で、「新聞や郵便物がたまっている」「雨戸やカーテンがずっと閉まった(開いた)ままになっている」「同じ洗濯物が何日も干したままになっている」「買物や病院、趣味活動などで見かけなくなつた」「本人の衣服や状態が不自然だ」など気にかかることがあったときは、立川市の「見守りホットライン」に連絡してください。

また、「在宅が明らかなのに応答がない」「応答があるが扉が開かない」「室内から異臭がする」などのときは、警察署(110番)や消防署(119番)に緊急通報してください。

「通報して何事もないと迷惑かけるのではないか」「かわりになりたくない」などのお考えもあるかもしれませんが、「何事もなければそれが一番」であり、皆さんのちよつとした気配りが、お互いをサポートすることになります。

各地区で活動している「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」とともに、地域貢献活動の一環として、皆様のご協力をよろしく願います。

「立川市 見守りホットライン」
042-506-0024

(安否確認の通報は24時間受付、その他は平日8:30～17:15)

職場紹介

「広報配布」

今回ご紹介するのは、センターが2月から新たに受託した「立川市広報配布」です。皆さんもご存じのとおり、市広報は月2回、10日号と25日号が発行されます。これを市内全戸に配布する仕事です。受け持ち件数は500件前後、現在、164名が就業しています。

配布自体はポストへの投函ですが、簡単な作業なのですが、投函忘れがないように気をつけ、また2世帯住宅への投函の方法、お宅ごとのご希望への対応など細かい気配りが必要なんです。この作業は、ただ配布するだけでなく、



広報を配布する内野明臣会員

同時に地域の安否確認も行っており、実際、郵便物がたまっている家のことが心配で、市役所に通報し、後日、警察署からも感謝の電話があったとのことなんです。



センターでは、以前より高齢会員の就業の場としては是非とも受託したいと考えておりました。だからこそ、絶対に信頼される仕事をしなければならぬという決意で準備を進め、就業会員皆さんの努力もあり、非常にスムーズに仕事が進んでいます。

配布している会員からは、「風の強い日に飛ばされないように気をつけていたら、通りがかりの人に『大丈夫ですか』と声をかけられ嬉しかった」「見守り活動で見た近所の方から『苦労さま』と声をかけてもらった」「汗をかきながら配っていたら手拭いをいただいた」など地域での仕事ならではの嬉しい声が届いています。

これからも、会員の皆さんの正確かつ丁寧な仕事で、地域でのセンターの信用を高め、就業開拓や地域貢献につながっていくと考えており、就業会員皆さんのますますの活躍をお祈りしております。

「就業会員研修」始まる

事業部会主催の「就業会員研修」が1月21日から始まりました。この研修は、

会員の接遇の再確認や就業への意識啓発を目的としており、12月まで月2回計24回を予定し、就業会員が必ず受けなければならない研修としてあります。



既に、3月までに7回が開催され、自転車整理指導、運転業務、駐車場・駐輪場管理、除草作業、植木剪定、営繕などが終了しています。

研修では、コミュニケーションに関するDVDを観た後、職員から就業に向かう意識、責任と地域貢献活動の重要性を話しています。今後も、職群・職場ごとに必ず研修を受けるようお願いいたします。

「清掃研修」が開催されました

センターでは、女性の就業機会の拡大として清掃作業の受注増を目指しています。そこで、清掃作業の知識及び技能付与を目的とした研修を、3月25・26日の両日、本部事務局で開催しました。参加会員は14名、清掃作業を専門として作業や用具類を熟知している会員を講師として、作業の進め方や用具類の効果的な使用方法について研修しました。

今後も継続的に研修を行う予定です。清掃作業を希望する方は、本部事務局事業係までお問い合わせください。



「柴崎町地区の見守り活動が “PTA 広報”で紹介され ました」

柴崎町地区の見守り活動が、第一小学校の PTA 会報「しばさき」で紹介されました。「いつもありがとう シルバーさん 見守り活動紹介」と題して、「始めたきっかけは?」、「大変な事は?」、「やっていて良かった事は?」を会員から聞くかたちで掲載されました。他には、「家庭でできること」として、「シルバーさんの言うことを聞く事」などを子供たちに伝えるよう記されており、参加協力会員への配慮がうかがえ、ありがたく感じられました。



平成 25 年度定時総会 開催のご案内

平成 25 年度定時総会を左記のとおり開催いたします。

日時 平成 25 年 6 月 21 日(金)
午後 1 時

場所 都立多摩社会教育会館 講堂

※詳細は追ってご連絡いたします。

お知らせコーナー

総合相談窓口からのお知らせ

総合相談窓口では、今年度より会員の皆様からの相談に応じる「総合相談日」を毎月 1 回開設します。就業に関する相談、いろいろな活動に関する相談など対応いたします。日程は左記のとおりです。相談希望の方は、事前にご予約ください。

記

4 月 17 日・5 月 15 日

6 月 12 日

いずれも水曜日

午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分

相談時間は約 30 分です。

相談申込先 本部事務局総務係

五二七―二二〇四

配分金振込日の予定

これからの配分金の振込日は次のとおりです。

3 月分 4 月 19 日(金)

4 月分 5 月 20 日(月)
5 月分 6 月 20 日(木)

自転車総合保険取扱終了

長年にわたり会員の自転車事故対策として加入を奨めてまいりました自転車総合保険が、平成 25 年 5 月 15 日をもって取扱終了となることとなりました。既に現在の加入会員の皆様にはご案内しておりますが、自転車総合保険に代わる保険として「交通事故傷害保険」をご案内する予定です。ただし、自転車総合保険とは保険内容が大きく変わりますので、地域班を通じて配布する案内書をよくお読みいただき、希望の方は期日までにご加入ください。よろしくお願いたします。

訃報(敬称略)

謹んでお悔み申し上げます。

富士見町第 1 班 串田 和夫
富士見町第 2 班 丸岡 春也
富士見町第 6 班 小佐野 達也
富士見町第 6 班 松尾 忠義
羽衣町第 2 班 久保 康博
羽衣町第 2 班 関口 悌司
羽衣町第 2 班 田中 賢也
曙町第 2 班 丸澤 珠

編集後記

今年の桜は史上 2 番目の早さで一斉に咲き誇り、慌てて宴を開いたり、恒例の花見へと出かけ、春を満喫したとの明るい声が聞こえてきました。街角や通学路では、黄色や橙色のベスト姿の会員さんが、桜の花に華やかさを添え、仕事や見守り活動に励んでおり、心温まる光景でした。

本号で「立川市地域見守りネットワーク事業」の一員になった報告がありました。子どもの通学路の見守り活動に加え、市民の誰もが安心して暮らせるための見守り活動に携われる機会をいただき、幸せなことと思っております。

子どもは来た道であり年寄は行く道です。必ずや人様にお手数をかける時が来るのです。お互い様の心を大事にしつつ、各地域結束して、センター会員としての役割を楽しく担ってまいります。

(石川由紀子)

若菜町第 2 班 伊藤 浩滋
幸町第 1 班 原 英樹
柏町・泉町第 1 班 中村 直市
砂川町第 4 班 張 健太郎
上砂町第 1 班 市来 雅雄
一番町・西砂町第 2 班 印南 正利
一番町・西砂町第 3 班 安藤 政吉